

# サポートセンター通信

## 第46号

発行元：松本市民活動サポートセンター  
〒390-0874 松本市大手 3-8-13  
松本市役所大手事務所 2階  
TEL/FAX：0263-88-2988  
E-mail：support-center@support-center.jp  
URL：http://www.support-center.jp

## 市民活動フェスタ 2013in 松本 ぼくらの学校

### 新たな展開に向けワークショップ開催

今年の市民活動フェスタは、9月28日(土)・29日(日)の両日、あがたの森文化会館と公園内並木道を会場に開催します。

今まで以上に「多くの市民に足を運んでもらえるイベント」とするためにはどうすればよいのか？6月～7月にかけて、有志参加による企画ワークショップ(協力:登録団体 Co-ProjectM)を4回開催し、前半は一般市民が楽しめる集客イベントについて、後半は各団体の魅力探しをしました。



提案を集約すると、以下の「①集客イベント5案」になります。このうち人気

投票で上位になったアイデアを「ぼくらの学校」で実施することになります。皆さん(登録団体、関係者)に選ばれた「アイデア」は企画メンバーで具体化していきますので企画委員も併せて募集します。

また、各団体については「②活動発表形式」の中で最も適する形式を選択して、魅力ある発表を工夫していただきます。



### ～① 集客イベント～

以下の5つから「いいね」と思うものを1つ選んでください。

※ 投票用紙(別添)にて投票してください

#### 【提案】

- No.1 「森エデュケーション」…屋外・並木道で
  - ※ 子どもたちと自然(蝶やホタル、森など)をつなげ、創造力をかきたてることで、視野が広がる活動の魅力伝える
- No.2 「松本一受けたい授業」…各教室で
  - ※ 多様で魅力的な活動が松本にあることを団体の売りを活かしながら伝え、知ってもらう講座
- No.3 「体験ラリー」…回遊性の創出
  - ※ 各団体の体験型活動(ワークショップ)をラリー形式で体験し興味を持ってもらう
- No.4 「プレゼン大会」…講堂ステージで
  - ※ 団体のノウハウや実績自慢、熱い思いをシャウトし、興味をもってもらう
- No.5 「お祭り屋台」
  - ※ 団体の新しい知識を学べたり、お土産があるワークショップで、団体の魅力を知ってもらう

### ～②活動発表形式～

- 体験型講座(ワークショップ)
  - ※ もの作り、工作、ネイチャーゲーム、意見交換会など
- ステージ発表(パフォーマンス)
  - ※ 音楽や踊り等のライブ披露
- パネル展示
  - ※ 模造紙や写真などによる活動紹介  
パネル・ポスターの展示
- 販売・喫茶
  - ※ 飲食物やオリジナルグッズの販売など
- 講義
  - ※ 1コマ40分程度の講話など



### 参加団体最終募集!

参加団体の登録(最終募集)をお願いします。参加申込票(別添)を7月29日(月)までにサポートセンターへ提出するとともに、下記第3回実行委員会へ参加してください。

### 第3回実行委員会

日時：7月31日(水) 19:00～

会場：市民活動サポートセンター

内容：投票結果発表、「ぼくらの学校」実施案の説明 他



まなぶ

# 「松本ホタル学会」発足！

**ホタルの光にひきよせられた仲間が、松本に一つの灯をともしました。**

子どもの頃、家の周りの小川や田んぼの畦道にホタルが舞うのはごく当たり前の風景だった。そのホタルを追いかけてそっと捕まえて両掌が明るくなるのにワクワクした経験はないだろうか？

河川の護岸工事や水田の区画整理、用水路のコンクリート化、農薬の使用等で一時は消えたホタルだが、このところ私たちの身近な生活環境の中に戻ってきている。松本市教育会自然委員会（信州理科教育研究会）の24年度調査報告によると、市内15地域でホタルの発生が観察されている。

時代の趨勢ホタルの回帰情報を共有し、松本地域の自然環境について考えようと、ホタルの保護や環境保全に取り組む団体及び個人、研究者によるネットワーク組織「松本ホタル学会」が、昨年末発足した。

ホタルが生息することは水辺環境のよさを表す指標でもあるが、ただホタルの数を増やそうというものではない。目指すものはホタルも棲める環境の保全。自然環境は様々な生き物が関係しあい、また人間の営みとのバランスの中で成り立っている。さまざまな関係性の中で自然保護を捉え、啓発活動として各地区でホタル学習会や観察会を開催したり、ホタルの発生・分布情報を共有し、それぞれの地域にあった自然環境保全について、共に学び考えていこうとするものである。「学会」と書いて「まなぶ会」と読むのには、そんな思いが込められている。



内田ホタル学習会のようす(写真提供:内田公民館)

6月28日夜、「松本ホタル学会」初の事業として、地区公民館（内田・松原地区）との共催で「内田ホタル学習会」が開催された。たくさんの親子連れが参加し、藤山静雄教授（信州大学理学部生物科学科）のホタル

ルについての講座のあと、近くの塩沢川でホタルを観察した。秋には塩沢川での自然観察会第2弾として、代表の吉田利男名誉教授(NPO 法人川の自然と文化研究所)の水生昆虫の学習会も予定している。身近な水辺環境に学ぶことで自然環境に対する地域での理解が深まり、活動メンバーが増えることが期待される。

ホタル水路での観察会のようす  
(写真提供:庄内ほたると水辺の会)



保護活動に取り組んで10年の「庄内ほたると水辺の会」は、大規模商業施設の開発工事をきっかけに活動が始まった。生息地の隣に新設された公園にホタルの生息環境を丸ごと移築したビオトープを作り、水路の清掃や草刈りなどの維持管理をして、地域の子どもたちに学習の場を提供している。ホタルの自然発生を毎年見守る地道な活動により、今では近隣商業施設から減光の協力を得るまでになった。

当初の参加呼びかけ人は、安藤真后(女鳥羽川のホタルの里を守る会)/乾巽(浅間温泉ホタルの里づくりの会)/遠藤健夫(蟻ヶ崎東ほたるを育てる会)/上條慶子(庄内ほたると水辺の会)/林秀剛(NPO 法人信州ツキノワグマ研究会)/百瀬丘(内田地区)/藤山静雄(信州大学理学部生物科学科)/吉田利男(NPO 法人川の自然と文化研究所)のみなさんと、ただ今、会員募集中！

入会を希望される方は、サポートセンターまでお問い合わせください。

また現在、メンバーから寄せられる松本市内のホタル発生情報をプロットした「ホタルMAP」をサポートセンター内で掲示公開しています。ホタルの観察は7月いっぱい楽しめるとのこと。関心のある方は、サポートセンターにぜひお出かけください。(くら)



# Close Up!

## 一般社団法人ゆめまる HAPPY 隊

Tel : 080-1023-2354 E-mail : yumemaru1@live.jp

URL : <http://www.yumemaru.net/>

### 「殺処分ゼロを目指し、今できることを」

ゆめまる HAPPY 隊は、平成23年8月に発足。きっかけは東日本大震災。震災直後に被災地へ人道支援に赴いた時、想像を絶する光景が広がっていた。ふと目に入ってきたものがある。「エサ、水をお願いします。」いたるところに張られている。飼い主が避難時に連れていくことのできなかった飼い犬が繋がれたまま、もしくは放されている。食べるものがなく痩せ細り、衰弱していた。その時、1匹の犬が近づいてきた。エサを差し出すと匂いを嗅ぎ、来た道を戻っていく。すると何頭もの犬と共に戻ってきて、エサを食べ始めた。「この犬たちをこのままにしておくわけにはいかない。飼い主さんと元気な状態で再会させよう。里親さんがみつかるまで大切に育てよう。」その想いで活動がスタートした。

松本市梓川にシェルターを設けて活動している。保健所の犬も受け入れている。保健所には飼い主の持ち込みもあるが、迷子になってしまった犬もいる。「殺処分ゼロを目指し、今できることを」活動開始2年弱でボランティアスタッフは80名を超えた。飼うという選択以外にも、フード・トリミング・健康管理・シェルター設備工事・物資提供・支援金・



ボランティアスタッフ約80名それぞれが、自分のできることをして活動にかかわっている

掃除・散歩など、様々な形のかかわり方がある。

「来たばかりの時、おびえていた犬の表情が変わっていき、いきいきしてくることが嬉しい。自分自身も癒されている。」とボランティアの岩井さん。同じくボランティアの小林さんは「犬たちのこれから先の生涯が楽しいものになるよう、自分ができることをしていく。」と語った。

この空間には笑い声が絶えない。人と犬がいきいきしている。秋には280坪のスペースへお引越し。「来て触れ合ってみてください」と代表の国本さん。人と犬とのかかわり方。自分が今できることをするという。これからも殺処分ゼロをめざして、活動していく。(はやし)



## プラチナ支援事業報告



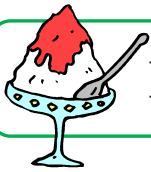
この度「プラチナサポーターズ松本」が、公益財団法人長野県長寿社 開発センター「25年度いきいき中高年社会貢献活動支援事業」の助成対象団体に選ばれ、サポートセンターとの協働によりプラチナ世代支援事業を運営していくことになりました。

事業の柱は、相談窓口とまり木の拡大イベントとして毎月一回開催されているプラチナサロン。今月は「道具と日本文化」と題して、家具職人でもあるサポーターズ鬼頭朝雄さんが、生活の中で洗練されてきた道具と匠の技について講義をしてくれました。

午後は、「ふれあいサロン」(障害者就労支援施設販売・市民交流会)「夏の歌を楽しむ会」に合流して、小松規美子さんのコンサートで一緒に歌を歌い交流しました。

さらに、7月23日にスタートする「傾聴ボランティア基礎講座」は、プラチナサロンでのお話し相手として、また地域で傾聴ボランティアとして活動するためのスキルアップを目的に、プラチナサポーターズの自主企画により4回連続講座として開催されます。詳しくは、サポートセンターHP、別紙チラシをご覧ください。お申込みはサポセンまで。





# INFORMATION

：お申込・お問合せは各団体に直接お願い致します。



## イベント・募集情報をお寄せください。

サポートセンター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。

### 湖底(湖中)・湖岸 環境整備清掃

北竜湖・野尻湖、木崎湖、松原湖の清掃ボランティアダイバーを募集します

- ◆日時：北竜湖…7月20日(土)  
野尻湖…7月21日(日)  
木崎湖…8月17日(土)・18日(日)  
松原湖…9月7日(土)・8日(日)
- ◆内容：・湖畔清掃 参加資格不問  
・潜水湖底清掃 参加資格者/ダイビングCカード取得者
- ◆主催：NPO法人長野県水辺環境保全研究会
- ◆問合せ：TEL:026-238-6680 FAX:026-238-6680  
E-mail:nagano-mizube@etude.ocn.ne.jp



### 人形が語る認知症講座

認知症のお年寄りにどう接したらよいか、多くの人が抱える悩みに人形劇でアドバイスして下さる講座です

- ◆日時：8月23日(金) 13:30～
- ◆会場：城北公民館 大会議室
- ◆参加費：無料
- ◆講師：看護師 江守けさ子さん  
介護福祉士 今村倭子さん
- ◆主催：ボランティアグループわっこの会
- ◆問合せ：TEL:0263-39-0273 (代表：松岡 文子)



### 平成25年度 松本市社会福祉大会

社会福祉向上のためにご尽力された方々の表彰や、記念公演として荒川知子さんとご家族によるトーク&コンサートもあります。

荒川知子さん…ダウン症の障害をもって生まれる。「荒川知子とファミリーアンサンブル」として全国で演奏活動を続けるリコーダー奏者。

- ◆日時：7月23日(火) 13:30～15:30
- ◆会場：松本市音楽文化ホール
- ◆参加費：無料
- ◆主催：松本市・松本市社会福祉協議会・長野県共同募金会松本市支会
- ◆問合せ：松本市社会福祉協議会 地域福祉課  
TEL:27-3381 FAX:27-2239



### 平成25年度ボランティアコーディネーター養成研修【応用編】

多彩な組織で働くボランティアコーディネーターやボランティア担当者の連携を進めるとともに、その専門性を高めることで、市民参加型社会の形成に寄与することを目的とします

- ◆日時：8月28日(水) 塩尻総合文化センター  
9月20日(金) 松川村すずの音ホール  
10月25日(金) 千曲市総合観光会館
- ◆対象：社会福祉協議会、社会福祉施設、NPO、学校等に所属するボランティア担当者、ボランティアコーディネーター
- ◆受講料：1回あたり500円
- ◆主催：社会福祉法人長野県社会福祉協議会
- ◆申込み：総務企画部 地域福祉推進グループ  
TEL:026-226-1882 FAX:026-228-0130  
E-mail:vcenter@nsyakyo.or.jp
- ◆締切：FAX又はメールにて8月2日(金)まで

### 『わすれない ふくしま』上映会

福島県飯館村の避難民であるひと家族とその知人で、自殺した酪農家といまだに警戒区域で300頭の牛を飼っている酪農家の日常を追った記録映画です

- ◆日時：8月18日(日) 10:30～
- ◆会場：松本市中央公民館(Mウィング)6階ホール
- ◆料金：前売1400円 当日一般1800円  
大高生1400円 中学生以下1000円
- ◆後援：松本市教育委員会
- ◆問合せ：NPO法人コミュニティシネマ  
松本CINEMA セレクト  
TEL:0263-98-4928  
E-mail:c\_cinema04@hotmail.com



### 新スタッフ紹介

ご利用団体の皆さまの団体名とお顔を早く覚え、また笑顔で市民の皆さまのサポートをして参りたいと思っております。よろしくお願い致します。(わが)

### 編集後記

サポートセンターでは、今月から子ども・若者支援、傾聴ボランティアの連続講座が始まります。皆さまの活動を後押しし、さらなるご活躍のきっかけになるようスタッフ一同努めてまいります。(なかがわ)